

『信』

令和2年11月30日(月)

11月が終わりました。残りの時間、『本気』で向き合えるように。

期末テストお疲れ様でした。自分の理想の結果は出せましたか？明日から12月、2020年も残り後1ヶ月になりました。この1年はとにかく予定通りに進まない日々が続きました。昨年の今頃、こんな1年になるとは全く考えていなかったと思います。もっとこうなっていたら良かったと、いくら過去を振り返ってもどうすることもできません。今後も感染拡大等、いつどうなるかわからない日々が続くかもしれません。そしてこれまでのよう、いくら理想や夢があっても、それに向かうための道が必ず真っ直ぐ進めるとは限らないのではなうか。

先週末、他校の先生と一緒に《高知県黒潮町》という町に伺いました。どこかで聞いたことがあるかもしれません、この町は今後30年以内に70%以上の確率で起こるとされている、

《南海トラフ巨大地震》が起きた際、34.4mの津波が来ると想定された地域です。11階建てのビルの高さの津波が来るという想定が、2012年に国からでた時、町の人たちは衝撃を受け、諦めに似た気持ちを持ったそうです。今回その町の高校や中学校を訪問し、どんな取組を行っているかを学びました。一言でいうと、『本気』でした。もう津波が来るのは当たり前、むしろこの想定を逆手にとって、プラスのイメージで防災教育を行い、犠牲者0を目指しているとおっしゃっていました。

年間10回以上の避難訓練、校外学習や下校中の避難訓練、地域住民との交流や保小中高での合同訓練など、いつ何が起こってもいいように、本気で取り組まれていました。今回行って感じたことは、きっと町の中学生は何が起こっても自分たちで考え方行動できるし、きっとそういう意識で過ごしていることで、普段の学校生活や勉強に対しても、最善の行動ができると思います。みんなも地震や河川氾濫などの自然災害に備えることが大切です。それに加えて、今後どのような状況になっても、自ら考え、最善の行動ができるようにしてほしいです。明後日の実力テスト、本当に大切なテストです。ぜひ結果を出せるように残りの時間頑張ってください！！

どんなに悔いても過去は変わらない。どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。いま、現在に最善を尽くすことである。